

# UNITED SPORTS FOUNDATION様

素敵なサッカーユニフォームをありがとうございました!!



## お礼とご報告



この度はサッカーユニフォームをご寄贈いただき、本当にありがとうございました。私はJICA海外協力隊として2021年11月よりモザンビークに派遣されている、富井佳織と申します。ゼビオグループ、株式会社ヴィクトリアに所属しており、現在し休職という形で協力隊に参加しています。

私はモザンビーク・マプト州ボアネ郡のエルシャダイコミュニティスクールというところに配属され幼児~中学生までの子どもたちと体育の授業を行う活動をしております。今回、サッカーユニフォームをこちらの学校に届けさせていただきました。今後、学校での体育の授業や地域のスポーツイベントで使用させていただきます。

いつもは普段着でスポーツをすることが多い子どもたちですが、届けられたユニフォームのデザインや背番号を見るなり、「本当のサッカー選手みたい!」と笑顔が溢れていました。また、胸の国旗を指差しながら日本 だと言って嬉しそうにしていました。このユニフォームを活用することによって、チーム分けがスムーズにでき、子どもたちはよりスポーツに集中して快適にプレイすることができています。

今回ご寄贈いただいたユニフォームはエルシャダイコミュニティスクール内で管理し、体育の授業やスポーツイベントの際に貸し出しという形で活用させていただきます。子どもたちのワクワクする笑顔やスポーツに夢中になって取り組んでいる姿を見て、学校長や職員一同、心より感謝しております。

素敵な贈り物をありがとうございました!!







## モザンビークってどんな国?

アフリカ東部、日本の約2倍にあたる79.7万平方キロメートルの国土に、約3,000万の人々が暮らしています。宗教的にはキリスト教徒が人口の約40%、イスラム教徒が約20%を占め、その他の伝統的な宗教も多数信仰されています。公用語はポルトガル語ですが、現地語も多用されています。

ポルトガルの植民地から1975年に独立を果たし、その後の内戦が終結したのは1992年です。政治の安定化とともに経済発展が進みつつありますが2019年時点での一人当たりの国民総所得(GNI)は480米ドルで、最も開発が遅れているグループである「後開発途上国」の一つに分類されています。主要産業は農業でとうもろこしが主な農産物ですが、近年は豊富な鉱物資源を活用した資源開発も活発に行われています。(参考;Unicef 公式サイト)



食事の主食は、とうもろこしの粉をねった「シマ」という食べ物です。さつまいもの葉っぱやキャッサバの葉っぱなど葉物が豊富で、ココナッツミルクとピーナッツで味付けをした塩気の強いソースと一緒に食べます。男性も女性も、料理にはかなり時間をかけて丁寧に作るのも、とても美味しいです。また、モザンビークは沿岸に位置していることもあり、アジやサバなどに日本に馴染みの深い魚類を食べることも多いです。

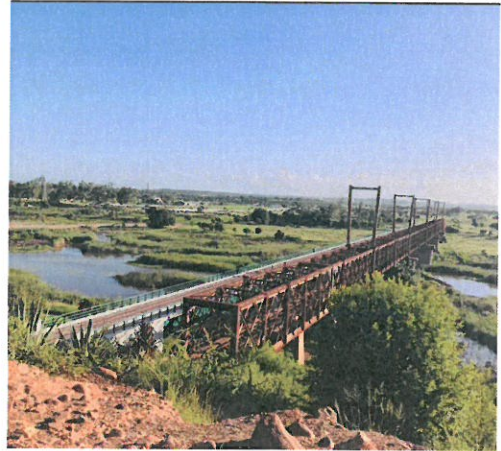
人柄は、陽気で明るい人が多い印象です。道で挨拶は当たり前、そこからの会話で通勤時間は通常の倍以上時間を見て家を出発しないと仕事に間に合わないほどです。災害があった時も、多くの住民が近隣同士で助け合っていました。普段から助け合いの精神が強く、1人でいることをよしとしない、優しい人が多いです。





## ボアネの子どもたちと生活

今回寄贈させていただいた学校がある「ピココ」という村は、首都から車で2時間ほど離れたところにあります。バナナやマンゴー畑が広がる農業地区で、舗装されていない砂の小道が広がる田舎の村です。電気は不安定、水も多くの家庭では毎日ポンプで汲みに行きます。学校は午前・午後の二部制なので、子どもたちは多くの時間を家の手伝いに費やします。料理や洗濯など、小さな子どもたちも器用にこなします。



## 体育の授業について

私の赴任当初、現地の授業を見ていて感じたことが3つあります。

### 1 取り組み種目が少ない

これといったスポーツはサッカーのみで、子どもたちで自由にやっているのでも、興味のない子つまらなくなってしまっている様子が見受けられました。

### 2 道具がない

ボールはもちろん、ネットやライン引き、縄跳びといった用具の不足もあり、先生方も取り組む術がないといった様子でした。

集団行動のようなものを一通りやった後は、子どもたちの自由時間となり、全員で何か一緒にやるという機会はとても少なかったです。



### 3 そもそもスポーツや体育が学校の中で重要視されていない

コロナの影響もあり、一時期は読み書き計算以外の科目は全て行われていませんでした。

体育の授業では「体力の向上」以外の目的はあまり認識されていないように感じました。





私の活動では、

- 「様々なスポーツに挑戦する」
- 「みんなで一つのことに取り組む」
- 「何より体を動かして楽しむ!」

をモットーに取り組んでいます。

今ではみんなで準備体操から後片付けまで一緒に取り組むことができるようになりました。

最近子どもたちの間で流行っているものは、ドッチボールとポートボールです。

日本では当たり前のようなチームスポーツも、彼らにとってはとても新鮮です。

チームスポーツをやることが多くなってきたため、ユニフォームを活用することでチーム分けが明確になり、そのことによる言い争いも減りました。ルールに集中して楽しく行う事ができています。

スポーツを通して、コミュニケーションや挑戦、達成感、自信、多様性といった、生きていく中で大切な要素を学べるよう、今回ご寄贈いただいたユニフォームを活用させていただきます。

この度は、本当にありがとうございました。

